

令和4年10月14日
高松信用金庫
日本政策金融公庫

#地方創生 #文化の振興

オーダーメイド納経帳・御朱印帳「千年帳」を販売開始
～四国の伝統技術を後世に伝える～

- ・事業者：株式会社四国遍路
- ・代表者：佐藤 崇裕
- ・所在地：香川県木田郡三木町大字池戸191番地
- ・業種：旅行業
- ・開業：平成28年1月



株式会社
四国遍路

千年帳



千年帳WEBサイト
sennencho.jp

代表の佐藤氏は、香川県出身。大学進学をきっかけに関東で16年間を過ごした後、地方創生を志し、地元・香川県にUターン。四国の巡礼旅をメインコンテンツとした旅行会社として起業した。四国地域に特化して、独自のツアー開発や旅行・観光に関するWEBサイト運営のほか、行政と連携した地域観光資源開拓などのコンサルティング業務、ローカルイベントの企画運営も請け負っている。

佐藤氏は、事業活動でお遍路さんと関わる中で「自分だけの高品質で特別な納経帳が欲しい」という要望を多く耳にしたことなどから、四国の伝統的工芸品を使った納経帳が作れないかと発想し、商品の構想を練り始めた。そこで、四国で活躍している土佐手漉和紙職人、染匠、紙資料保存修復士、書家などの職人とともに制作チームを立ち上げ、約2年半の開発期間を経て「千年帳（せんねんちょう）」の製品化にこぎつけた。商品名の由来は「メイン材料である『土佐手漉和紙』が1000年以上続く伝統手法であり、1000年もつとも言われるほど保存性が高いこと」などから名付けたものだ。佐藤氏は「四国遍路をはじめとした寺社を巡る旅が、この『千年帳』と同じように『特別な』体験になってほしい。また、残念ながら縮小している四国の伝統産業に光をあて、担い手不足の解消にもつなげたい。」と話す。

高松信用金庫と日本政策金融公庫は、佐藤氏の地方創生に対する熱意と、地元・四国の伝統文化を後世に伝えたいという強い思いを評価し、新規事業にかかる融資を実行した。



←制作チームのメンバー。一番左が代表の佐藤氏。

→完全受注生産の手仕事で仕上げるプレミアムな納経帳・御朱印帳。千年帳WEBサイトからオーダーメイドの注文が簡単にできる。

↓（左から）「土佐手漉和紙」、「讃岐のり染」、「和綴じ」の工程に取り組む職人の様子。



＜お問い合わせ先＞

高松信用金庫 総合企画部 Tel：087-861-0471（担当：十河）

日本政策金融公庫 高松支店 国民生活事業 Tel：087-851-0181（担当：明光、安藤）